

第86回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：令和2年1月27日（月） 10:00－11:00

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、青木委員、遠藤委員、折木委員、後藤委員、中須賀委員、山崎委員

(2) 政府側

内閣府宇宙開発戦略推進事務局

松尾事務局長、行松審議官、滝澤参事官、中里参事官、星野参事官、森参事官、吉田参事官

(3) オブザーバー

宇宙航空研究開発機構（JAXA） 山川理事長

4. 議事要旨

(1) 「宇宙基本計画工程表について」事務局より説明を行った。

(2) 「令和2年度宇宙関係予算等について」事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。(以下、○委員からの意見)

○予算は増額しているが、やるべきことが多くある中で、まだまだ足りない状況であり、引き続き、関係省庁には、来年度以降の予算獲得についてもご尽力いただきたい。

(3) 「宇宙基本計画改訂に向けた検討状況について」事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。(以下、○委員からの意見)

○自立性の確保とあるが、どのような分野で、誰に対しての自立性なのか、など自立性の持つ意味を明確にしていく必要があるのではないか。

○宇宙領域が拡大していく中で、日本として何をやるのか、民や海外との役割分担を含めて、国がやるべきことを考える必要があるのではないか。

○宇宙産業の拡大に向けては、ハード面だけでなく、社会に対して何ができるか、サービスの予見性を高めることが重要ではないか。

○今後は、宇宙をシステムとして捉え、機器開発からデータ解析やオペレーションまで含めて、ITなどの非宇宙分野とも連携し、全体としての機能保証を考えていく必要があるのではないか。その際、システムのインテグレーターの役割を誰が果たすのか、しっかり考えていくことが重要ではないか。

○今後は、ベンチャーだけでなく、非宇宙分野も含めた大企業の宇宙産業への参画を促していく取組が重要になるのではないか。

以上